

いのちの言の葉

「いのち」(道徳)

平成20年度 高岡市立福岡小学校 5・6年

富山県教育委員会 平成20年度いのちの教育支援事業 平成20年7月16日実施

「いのち」ってすばらしい

自分の体験やファミリーパークでの出来事から、つながりあういのちについてお話していただきました。

山本 茂行先生のプロフィール

- ・ 富山市ファミリーパーク園長
- ・ 高岡市福岡町在住

ぼくたちは給食でも、鳥の命をもらって鶏肉を食べたり、魚の命をもらって焼き魚を食べたりしています。いろいろな生き物から命をもらって生きているということが分かりました。これからは、感謝の気持ちを込めて「いただきます。」と言って食べたいと思います。



【内容】

- ・ 全国的に珍しいファミリーパークの紹介
- ・ 山本先生と福岡の自然とのつながり
- ・ いのちにはつながりがあること
- ・ 現在の取り組みと夢

私たちが、生き物や植物にもっとできることがないかということを中心に考えて、「いのち」を大切にしていきたいです。山本園長さんの話で、自分が知らないところでどんなことが起きているのかがよく分かりました。自分が周りの人に支えられていることを当たり前だと思わないで感謝していきたいです。



山本園長さんの話を聞いて、いのちはすばらしいと思いました。ファミリーパークは、身近な動物とふれあうことができたり動物たちの命が消えることのない環境をつくったりしているので、いいなと思います。そして、自分だけでなく、みんなのいのちをすばらしいものだと考え、大切にしていこうと思います。



ぼくは、山本園長さんが話された「人間は自然をいじめている」ということが気になりました。これまで自然のことを考えずに、ごみを捨てていたからです。

人間も動物も自然もみんないのちはつながって生きていると思ったので、これからは、自然の葉や木をちぎったり、給食を残したりしないようにしようと思いました。

